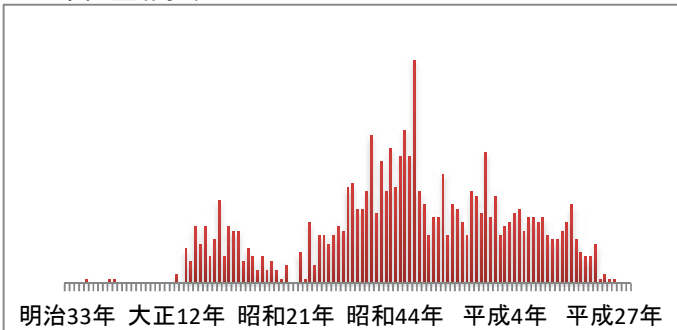


誰もが安全・安心に暮らし続けることができる 都市インフラ（橋梁）のリニューアル

■ 現 状

- 管理規模 約1,200橋
- 管理橋梁の架設年次



清洲橋(昭和3年3月完成)

■ 点検状況

※日常点検は3日に1度実施しており、その他に下記の点検を実施しています。



定期点検(5年に1度)
近接目視により、腐食、ひび割れなどを確認

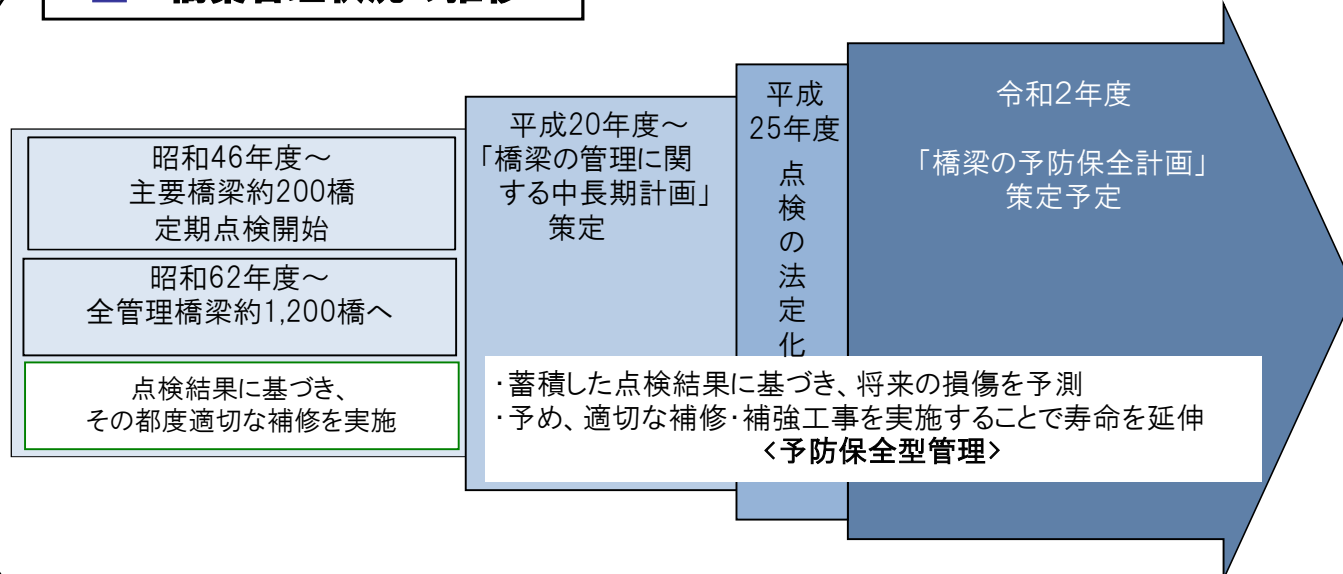


異常時点検(随時)
震度5弱以上の地震で実施
目視などにより、状況を確認



詳細健全度点検(数橋/年)
目視できない構造を、非破壊
検査などで確認

■ 橋梁管理状況の推移



■ 予防保全型管理に向けた取り組み

○長寿命化事業

架替えに多額の費用と周辺への多大な影響が予測される橋梁(長大橋、跨線・跨道橋)について、最新の技術を用いた対策を実施し、対策後100年以上の延命化を進めています。

⇒従来の対症療法型管理から、劣化が進行する前に計画的に補修補強等を行う**予防保全型管理**への転換

【効果】

- ・コスト縮減、環境負荷の軽減、安全・安心の確保、道路ネットワークの確保

【架替えと長寿命化の事業費比較】

